

# 学校ニュース

## 岸良小中学校

5月11日の土曜授業日に、ウミガメ講演会を開きました。今年は、鹿児島水族館で魚類の展示やウミガメの調査活動をしている、柏木由香利さんを招いて、お話を聞きました。当日は、ふ化してから1年間保護していたウミガメの子どもや陸ガメも連れてきてくださり、本物を見ることで体のつくりや動きの違いがよく分かりました。また鹿児島島にウミガメがたくさん上陸する理由も教えていただきました。岸良小中の保護活動を称賛していただき、これからも、浜の清掃や保護活動を続けていく意欲が沸きました。



5月16日、5・6年生は、宿泊学習で内之浦漁協の見学をしました。朝早くから漁に出た船が戻ってきて、たくさんの魚を水揚げする様子や並んだ魚を競りにかける様子など、活気ある漁協を見て興味津々の子供たちでした。その後、食改善推進協議会の方を講師として招き、漁協でいただいたアジを使って魚さばきを体験しました。「魚を一匹丸ごと味わおう」と三枚におろした身は刺身とホイル焼きに、残った身をつみれにしたり、頭から出汁をとり吸い物を作ったりしました。骨は油で揚げて骨せんべいになりました。内之浦の産業と海の幸を体感することができました。



## 波野小学校

5月20日、5・6年生22名が、高山漁協でヒラメの放流を行いました。体長7～8cmほどの稚魚を漁協組合の方の御指導で海に放流しました。今回放流した数は約8,000匹でした。「早く大きくなってほしい。」「できれば戻ってきてほしい。」など、それぞれの思いを胸に秘めて放流しました。水産資源の確保に関わることができ満足した様子で水産業を身近に感じる時間となったことが伝わりました。

